

# 【 2018アジアジュニア選手権 】

2018年7月16日～7月26日 オマーン・サラール

## 試合結果報告 7 月 24 日 ( 火 )

J P N	VS	B R N(バーレーン)
13	前半	9
7	後半	8
20	合計	17

### 個人得点

名前	前半	後半	7MTC	合計
平尾 克己				
高野 颯太	1			1
末岡 拓美	2	3		5
阿部 奎太				
徳田 廉之介	6	2		8
村木 幸輝				
堀田 陽大				
矢野 世人		2		2
櫻井 睦哉	1			1
中村 光				
朝野 翔一郎	1			1
中村 翼				
川崎 駿	1			1
大杉 拓巳				
Kai Klampert	1			1
磯田 健太				
合計	13	7		20

### 戦評

準決勝の相手はバーレーン。予選ラウンドではサウジアラビアに勝利、メインラウンドから変わらず、矢野、阿部、末岡、徳田、櫻井、高野、中村(光)のスターティングメンバー。徳田の2連取で試合がスタートすると、前半は日本のペース。攻撃では、相手のDFラインをゆさぶるパスワークから、末岡のブレイクスルーや櫻井のサイドなどで得点を重ねていく。また防御では、バーレーンのエースNO.89 ALの突破を2人がかりで阻止するなど、開始20分までの失点を5点に抑えることに成功し、13-9と日本リードで前半終了。

後半開始直後、相手に2連続得点を許し、13-11の2点差に追いつかれるが、日本は慌てずに試合を進める。後半からセンターを任された村木と川崎のゲームメイクは落ち着いていた。さらに、ディフェンダー陣が長い時間守り、相手の苦しい体勢でのディスタンスやブレイクスルーを中村(光)がしっかりセーブするなど、ほとんどの時間帯で試合のペースを握り続けた日本が20-17で勝利し、2大会ぶりの世界選手権への切符を手にした。

決勝の相手は、予選ラウンドで破れている韓国。宿敵に勝利し、なんとしてでも優勝の2文字を手にした。

報告記入者 :

船木 浩斗